

頻発する異常気象。その背景に何が？ 温暖化問題の現状を学ぶ学習会



記録的豪雨、土砂災害、巨大台風。異常気象が日本のみならず世界各国で猛威をふるい、大きな被害を与えています。その背景に何があるのでしょうか？

各国政府の推薦を受けた世界の科学者が集まって、発表された論文や観測・予測データから気候変動の科学的分析と影響、取るべき対策などを明らかにしたのが、国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の『評価報告書』です。

気候変動・地球温暖化で私たちの置かれている現状をIPCC評価報告書でじっくり学び、また昨年ペルーのリマで開催されたCOP20の内容とCOP21の課題などについて報告していただきます。府民・市民のみなさんぜひご参加ください。

●日 時：2015年2月14日(土) 14:30~17:00

●場 所：阪南大学あべのハルカスキャンパス

あべのハルカス23階(あべのハルカス地下1階のオフィシャルエントランスよりシャトルエレベーターで17階のオフィスロビーへ。17階から低層用オフィスエレベーターに乗り換え23階で下車します)

●内 容：①学習「気候変動・温暖化とIPCC報告書」

講師：青山政利さん(元近畿大学助教授)

②報告「ペルーでのCOP20に参加して」

講師：早川光俊さん(CASA専務)

●主 催：日本科学者会議大阪支部・大阪から公害をなくす会

後 援：地球環境市民会議(CASA)

連絡先：大阪から公害をなくす会(TEL:06-6949-8120)

資料代 200円

申し込み用紙 送り先=大阪から公害をなくす会 FAX番号 06-6949-8121

お 名 前	(他 名)	電話	
団体名(個人の場合はご住所を)			
メールアドレス			

定員 40名(先着順)